

Shin Club 14

株式会社 通信 Vol.14
May 2001年
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

今月のトーク 「スポーツクラブ考」

弊社で改修工事を行った「オアフクラブ綱島」が、4月15日、リニューアルオープンしました。以前の経営母体が破綻して、新会社へ移行し、短期間で改修工事を行わずにはならず、現場も大変でしたが、無事オープンにこぎつけました。クラブ会員の申し込みは当初の予定を上回り、まずまずのスタートとのこと。

工事以前の施設は、内部の塗装もはげかかって見栄えが悪かったのですが、会員の方、実はたくさんいらっしゃいました。駅から5分、大きなスーパーも近く、ロケーションとしては最高です。附属の幼稚園もあり、親子2代のお付き合いという会員さんもいるくらい、地域と密着したクラブだったので。

バブル期にはたくさんのスポーツクラブが作られましたが、最近では会員数の減少にとまじり、どこでも統廃合が進んでいます。高い入会費、高額なジムマシン、豪華なジャグジーやサービス、…優雅なひとときを過ごすには、今、世の中は少々余裕がありません。むしろ、癒し系のサービス業、たとえばマッサージ、針、カイロプラクティック、15分区切りの料金でやってくれる肩もみなどが渋谷では目につきます。パソコンや残業でストレスにさらされている身体が、悲鳴をあげているのでしょう。

しかし、マッサージや針は所詮根本的な解決にはなりません。ほんとに必要なのは、多少のストレスでもたくましく支えてくれる身体なんだと思いませんか。「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」と

言います。老化を防ぐのも身体の筋力です。動脈硬化の予防も、ふだんから食べ物や運動に気を使うことしかありません。

そこでスポーツクラブです。それも、時間があれば気軽に立ち寄れる、毎日の生活に密着した施設です。「会社帰りにも開いている」、「サウナも自由に利用できる」、「インストラクターが、自分をいつも暖かく迎えてくれる」、そんなクラブが求められているのです。もちろんリーズナブルな会費であることが一番です。

公共の施設は、夕方には終わっていたり、サービス面での対応の遅れが感じられます。利用者の立場にたっていません。新横浜のスポーツ医科学センターでは、個人プログラムサービスを受けるだけで15,000円、それも平日丸1日を費やさなくてはなりません。トレーニングジムは予約申し込み制で有料の講習会を受けた人だけが抽選で利用できるのです。どのくらいの横浜市民が利用しているのでしょうか。日曜日、ジムは結構すいていました。

一方「オアフクラブ綱島」は、現在入会金300円、1ヶ月の会費9000円のクラブ会員になればプール、サウナ、トレーニングジムは何時でも利用可能、スタジオのクラスも気に入ったものに自由に参加できます。他のクラブでも最近このようなシステムのところが増えていきます。

少々PRに傾きすぎましたが、癒してばかりでは始まりません。頑健な身体を維持しつつ、元気を出して行動開始といきたいものです。

作品紹介



オアフクラブ綱島 改修工事(横浜市港北区)

1階プール部分は塗装を塗り替え、サウナやトイレを増設した。階段まわりも塗装しなおし、3階は全面テニスコートだったものを分割、トレーニングジムとスタジオ、一部保育室を設けた。2、3階の幼稚園、保育室は弊社の快足フロアを採用、ドイツ健康塗料リボスを塗って、裸足で遊べる床に。そのほか、更衣室、個人ロッカーなどの設備もより充実したものに生まれ変わった。



TOPICS

「ジーク池袋 地鎮祭」 (4月20日) 豊島区

7階建てマンションです。山手通りの近くです。14年2月竣工予定



「S邸 上棟式」 (4月3日) 新宿区

眼科のお医者様のご自宅です。コンクリートの外壁が美しい建物です。設計: 創建築アトリエ 6月中旬竣工予定



「NK(日商機械)川崎倉庫・事務所地鎮祭」 (4月20日) 川崎市

建設機械の問屋さんの新築工事です。13年12月竣工予定



「代田の家 竣工」 (4月27日) 世田谷区

設計: EPA環境変換装置 建築研究所 2世帯住宅。広いデッキが心地よい建物です。後日、また取材にうかがいます。



「瀬田の家 お引渡し」 (5月10日) 世田谷区

お施主様は韓国の芸術家、崔在銀氏。1976年来日し、草月流に入門以後、日本、韓国、イタリアなど世界各地でダイナミックな創作活動を続けられています。昨年、崔さんが製作、監督、編集を手がけられた映画「On the Way」は、モンリオール世界音楽祭「Cinema of Tomorrow」部門正式招待作品/韓国チョンジュ国際映画祭「Asian Indie Cine-Forum」部門正式招待作品となりました。脚本は崔さんと中村桂子(DNA生物学者)、音楽は細野晴臣、真壁尚也、撮影はHans Rombach BVK(ハンス・ロンバッハ)です。ロケはアウシュビッツ、韓国板門店、ベルリンで行われました。この秋の一般公開に先駆けて、辰のスタッフも試写会にご招待いただきました。



WHAT'S NEW

ティービーオーレコメ2001 『脱デザイナーズマンション宣言』
2001年4月19日～5月8日 @新宿リビングセンターOZONE

タカギプランニングオフィスによる集合住宅・指名コンペの公開プレゼンテーションが新宿OZONEで行われました。今年で3回目を迎えるこの企画、5月5日の公開プレゼンテーションには、多数の申し込みがあり、人気の高さがうかがえました。新宿二十騎町を舞台に「脱デザイナーズマンション宣言」をした5人の建築家、飯田善彦、金樹義久+荘司毅、北山恒、小嶋一浩、難波和彦が、新世紀系集合住宅を展開しました。その結果、弊社と現在聖蹟桜ヶ丘「斜面長屋」プロジェクトで協働している、北山恒氏の作品が選ばれました。



INFORMATION

「オアフクラブ綱島の工事に、感謝状授与」 (4月15日)

「オアフクラブ綱島」附属の「毎日体育幼稚園」様から、工事を担当した辰の現場主任たちへ、かわいい感謝状をいただきました。さすが幼稚園の先生の手になるもの、かわいいポーズをとってくれたり、喜び子供たちが教室の棚にもぐっていたりと、楽しい写真がたくさん貼り付けられています。工事の間、すっかり気心が知れたのでしょうか、いつもは無愛想な辰の主任たちの顔もうれしそうに見えます。(中央に「しんのみなさんありがとう」の文字がみえます)

